マイスター・ハイスクール普及促進事業「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」

ONE-TEAMニュース

北海道教育庁学校教育局高校教育課キャリア教育指導係

第１号
令和６年（2024 年）
８月 22 日

令和６年度から２か年で実施する文部科学省マイスター・ハイスクール普及促進事業「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」の取組や、各校の好事例、専門高校と産業界との持続可能な連携につながる情報を提供します。

「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」の事業概要

本道においては、次世代半導体製造拠点の立地や洋上風力発電の導入、農業や水産業のスマート化など、産業構造が大きく変化しています。こうした中、職業学科を設置する高等学校では、産業構造や仕事内容の絶え間ない変化に即応した職業人材の育成が急務となっていることから、マイスター・ハイスクール事業（R3～5 年度）において静内農業高校が構築した職業人材育成システムを、道内の専門高校に広く横展開するとともに、産業界と専門高校の持続可能な連携の充実を図ることを目的として実施する事業です。

詳しくはこちらの Web ページから↓

キックオフミーティングを開催しました。

令和６年７月８日（月）に、本事業について理解を深める「キックオフミーティング」を、会場参集・オンラインのハイブリット方式で開催しました。当日は全道から職業学科を担当する教諭など 86 名が参加し、本事業の説明や講話、今後の産業界とのサステナブルな連携の在り方について、研究協議が行われました。

○発表「マイスター・ハイスクール事業の研究成果について」

（静内農業高校　工藤　淳　教頭）

静内農業高校における実践事例や、今年度より取り組んでいる自走化した職業人材育成システムの仕組みなどについて発表していただきました。

○基調講話「専門高校と産業界のサステナブルな連携の在り方について」

（北海道農産協会てん菜部長　桑名　真人　氏）

産業界との連携を進める上でのポイントについて、静内農業高校の事例をもとにした説明があり、信頼関係の重要性や、産業界と持続的に関わるプラットフォーム形成についてのお話しをいただきました。

静内農業高校の詳しい取組はこちらの Web ページから↓

説明する静内農業高校　工藤教頭

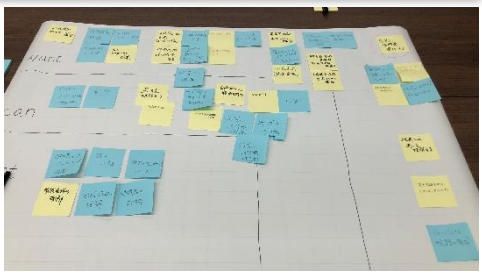
講演する桑名氏（左）と参加者（右）

○協議「自校における持続可能な産業界との連携について」（産学連携コーディネーター　月館　海斗　氏）

会場と、オンライン併せて全 11 グループで研究協議を行いました。学校と産業界との望ましい連携の在り方について、「生徒」「地域」などのそれぞれの視点から、「理想の姿」を設定し、その実現に向け、「自分たちに何ができるか」、「何が必要か」をテーマに、今すぐ実践できる取組について考えました。学科の垣根を越え、異なる学科の先生方で協議を行ったことで、「新たな視点や気付きが多くあった」、「もっと協議の時間がほしい」との声も多く、充実した時間となりました。

協議のファシリテーターを務めた月館氏

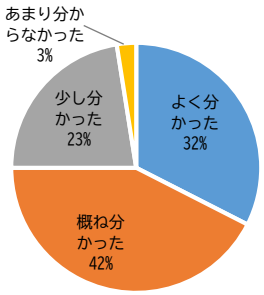
グループワークに取り組む参加者



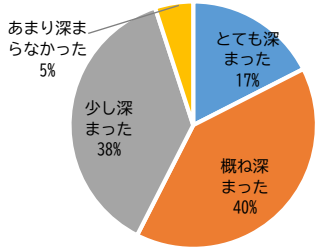
グループワークの内容をまとめた様子

参加者の声（アンケート調査の結果より）

Q　本事業の概要が分かりましたか



Q　専門高校と産業界のサステナブルな連携の在り方について、今後のイメージは深まりましたか



参加した感想、意見、要望等

○様々な視点からのお話で、気付きが多くあった。
○職業学科の学習内容を、産業界に一目置かれる状況にすることで、職業高校の存在価値を高められると感じた。
○地元企業とのつながりを密にできる取組が必要。
○学校それぞれの取組にならず、各校が連携できるような体制や仕組みづくりが必要。

など

産業界と学校との連携を支援する「産学連携コーディネーター」

「北の専門高校ＯＮＥ－ＴＥＡＭプロジェクト」において、学校と産業界との連携を支援する「産学連携コーディネーター」を担当する月館海斗氏のコメントや、キックオフミーティングの感想、コーディネーターの役割について紹介します。

この度、本事業の産学連携コーディネーターを拝命いたしました株式会社すみかの月館です。私自身、教員経験を通して、学校と社会の連携は非常に重要だと感じた一方で、仕事量の多さから連携が困難であることも感じました。

キックオフミーティングでは、本事業を進めていくに当たって、まずは皆さんの想いを共有したく発散形式の協議を行いました。この協議にて、各職業学科の先生方から地域を巻き込んだスポーツイベント（文化祭）の開催や、地域とつながるために先生が率先して外部イベントへ参加することなど具体的なアイデアが多数出されました。

今後は、コーディネーターとして、先生や学校だけでは実現できなかった教育機会の充実を実現できるようサポートしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

月館 海斗 氏

主な経歴等
- 株式会社すみか代表取締役（立命館慶祥中学校教員を経て、会社設立）
- 厚岸翔洋高校マイスター・ハイスクール事業伴走者
- 札幌市「市立高校コンシェルジュ」任命
- その他教育現場での教育支援プログラムを実施

※産学連携コーディネーターの主な役割

①人的ネットワークの構築	②産業実務家教員リストの作成	③産業構造の変化に対応
職業学科の指導主事と連携し、学科の特性に応じて専門高校と、産業界を人的につなげる	謝金等が不要で、出前授業等が可能な職業人をデータベース化し、専門高校と産業界のつながりを後押しする	先端技術に従事する技術者を紹介したお仕事ガイドブックを制作

好事例の紹介

学校と産業界の連携において、先進的な事例や特色ある取組を紹介します。是非各校で自走可能な連携の取組を考える上での参考にしてください。今回は室蘭工業高校における、地域の建設業協会と連携した人材育成についてです。

【室蘭工業高校】建設業協会との緊密な連携
- ３つの建設業協会と企業実習に関する連携協定を締結（R6.2 月）
- 道内の工業高校としては初となる革新的な取組
  ※年間 15 日程度の企業実習を想定
  ※R8 の本格実施に向けて、R6 より施行実施
- 育成する人材像を具体化して共有するほか、企業実習プログラムを共同で開発

連携のイメージ図

教員向け建設 DX 理解促進セミナーの実施について（案内）

高等学校において進路指導を担当する教員等が、DX 化が進む建設業に関する理解を深め、本道産業構造の変化に対応した進路指導の充実を図るため、建設 DX 理解促進セミナーを開催します。

1　日　　時

令和６年９月 26 日（木）14：00～15：30
※Zoom によるオンライン

2　内　　容

(1)　講　　演「DX 化に伴い変革が進む建設業における業務内容と働き方」
　　講　　師　荒井建設株式会社　取締役土木技術部長　岡崎　竜志　氏
(2)　説　　明「建設業における新しい職域『建設ディレクター』について」
　　説 明 者　一般社団法人建設ディレクター協会　藤田　歩実　氏
(3)　説　　明「建設ディレクターの育成について」
　　説 明 者　ヤマグチ株式会社土木部工事管理室
　　ビジネスイノベーション推進課長　馬場　洋介　氏
(4)　体 験 談「建設ディレクターとしてのやりがい」
　　発 表 者　ヤマグチ株式会社土木部工事管理室　長坪　和　氏
　　原田　杏瑞　氏
(5)　事例発表　「地元建設業協会と連携した企業実習の取組」
　　発 表 者　北海道室蘭工業高等学校環境土木科長　鈴木　圭吾　教諭

3　申込方法・〆切

各教育局からの通知に従い申し込んでください。

企業と連携した人材育成の在り方の参考とするほか、
新たな産業や働き方を学ぶ機会として、
工業科以外の先生にも広くお勧めします！